

留 衛 監 第 1 6 号

令和6年8月13日

留萌南部衛生組合

組合長 中 西 俊 司 様

留萌南部衛生組合

監査委員 武 田 浩 一

監査委員 杉 本 弘 幸



令和5年度留萌南部衛生組合会計歳入歳出決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和5年度留萌南部衛生組合会計歳入歳出決算を審査したので、別紙のとおり意見を提出します。

令和 5 年 度

留 萌 南 部 衛 生 組 合

歳入歳出決算審査意見書

留萌南部衛生組合監査委員

令和５年度留萌南部衛生組合歳入歳出決算審査意見

1 審査の対象

令和５年度留萌南部衛生組合歳入歳出決算

2 審査の期間

令和６年７月４日から令和６年７月２６日

3 審査の方法

本決算の審査にあたっては、令和５年度歳入歳出決算書並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書（以下「附属書類」という。）が地方自治法等の関係法令に準拠して作成され、その会計処理が適正かつ確実に行われたか等について、留萌南部衛生組合監査基準に基づき必要な審査を実施するとともに、決算及び決算額の基礎となる証書類に基づいて決算計数の正確性、適法性をただし、予算執行の適否についても審査した。

なお、現金・預金の確認及び証書類の検証については、地方自治法第２３５条の２第１項の定めるところにより例月現金出納検査において実施したので、その結果を参考として審査した。

4 審査の結果

令和５年度歳入歳出決算書及び附属書類は、地方自治法等の関係法令に準拠して作成されており、決算の計数については関係諸帳簿等の諸書類と照合検算して審査した結果、正確であることを認めた。

5 審査の概要

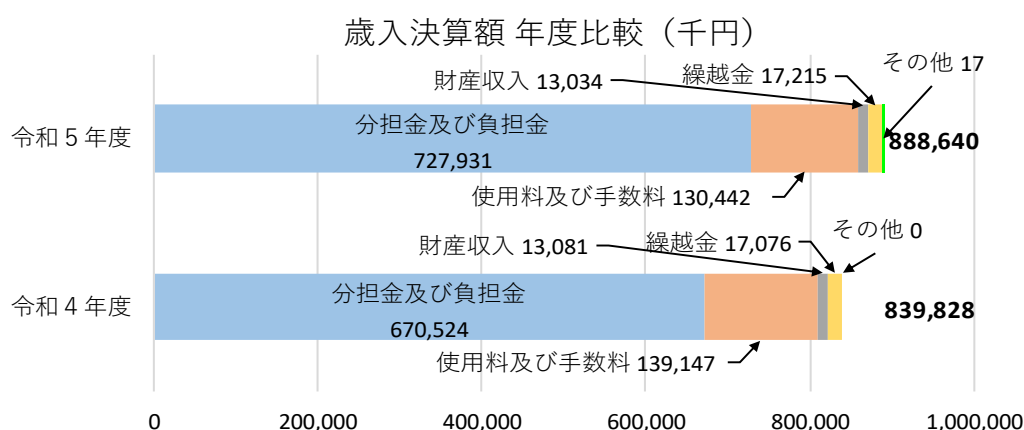
本会計の決算は、資料１「歳入歳出決算状況」に示すとおり、予算現額 889,817,000円に対し歳入決算額は888,639,860円で、予算執行率は99.9%であ

り、歳出決算額は876,216,460円で予算執行率は98.5%、歳入歳出差し引きにおいて12,423,400円の剰余金が生じたため翌年度へ同額を繰越し、決算を了したところである。

6 歳入の決算状況

資料1(1)に示すとおり、予算現額889,817,000円に対し調定額及び収入済額は、同額の888,639,860円で予算執行率は99.9%である。

なお、前年度決算額との比較では48,811,982円（5.8%）の増加であり、款別に比較すると次のとおりである。



第1款 分担金及び負担金

予算現額727,932,000円に対し、調定額及び収入済額は同額の727,930,854円で予算執行率は100.0%である。

決算額は前年度（670,524,049円）と比較して57,406,805円（8.6%）増加した。各市町の内訳は、留萌市が471,704,868円で前年度比44,998,194円の増、増毛町が133,903,238円で前年度比5,188,443円の増、小平町が122,322,748円で前年度比7,220,168円の増である。

この負担金は、「当組合負担金割合及び徴収条例（施設毎に制定）」に基づく管理運営費、建設費、公債費等に対する負担金で、各市町の負担内訳は施策の実績報告書のとおりである。

第2款 使用料及び手数料

本款は、当組合衛生センター使用条例、火葬場条例及び行政財産使用料に関する条例に基づいて使用者から徴収する使用料と、廃棄物の処理及び清掃に関する条例に基づくごみ処理手数料からなり、予算現額131,722,000円に対し、調定額及び収入済額は同額の130,442,180円で、予算執行率は99.0%である。

なお、決算額は前年度（139,147,230円）と比較して8,705,050円（6.3%）減少で、この主な要因は、衛生センター使用料1,371,000円の減、ごみ処理手数料6,519,050円の減、共に搬入量の減少によるものである。

第3款 財産収入

本款は、土地貸付収入及び物品売払収入で、予算現額12,947,000円に対し、調定額及び収入済額は同額の13,034,470円で、予算執行率は100.7%である。

なお、前年度決算額（13,080,648円）と比較して46,178円（0.4%）減少した。

第4款 繰越金

本款は、令和4年度歳入決算額（839,827,878円）と歳出決算額（822,612,732円）との差引残高17,215,146円を繰越金として受け入れたものである。

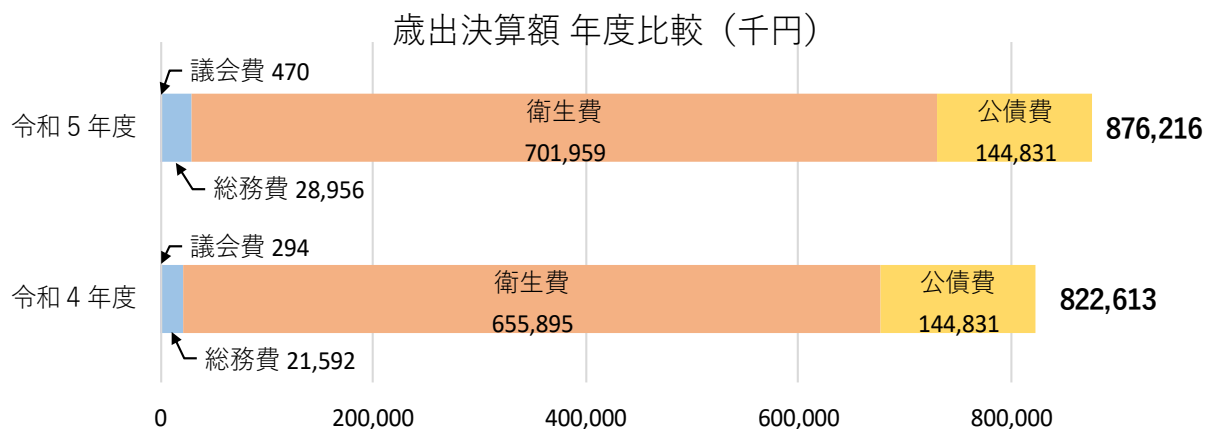
第5款 諸収入

本款は、予算額1,000円に対し、雑入として自動車損害保険解約返戻金17,210円の収入である。

7 歳出の決算状況

資料1(2)に示すとおり、予算現額889,817,000円に対し、支出済額は876,216,460円で決算を了した。予算執行率は98.5%で、不用額は13,600,540円である。

なお、前年度決算額（822,612,732円）との比較では53,603,728円（6.5%）の増加であり、款別に比較すると次図のとおりである。



※科目ごとに千円未満を四捨五入しており、合計値と一致しない場合がある。

第 1 款 議 会 費

予算現額876,000円に対し、支出済額は歳出総額の0.1%に相当する470,277円（執行率53.7%）で、不用額は405,723円である。

なお、前年度決算額（293,600円）と比較すると176,677円（60.2%）の増加である。

第 2 款 総 務 費

予算現額29,505,000円に対し、支出済額は歳出総額の3.3%に相当する28,955,932円（執行率98.1%）で、不用額は549,068円である。

なお、前年度決算額（21,592,449円）と比較すると7,363,483円（34.1%）の増加である。この主な要因は温暖化対策実行計画基礎調査業務委託料（6,710,000円）の増である。

第 3 款 衛 生 費

予算現額712,184,665円に対し、支出済額は歳出総額の80.1%に相当する701,958,889円（執行率98.6%）で、不用額は10,225,776円である。

なお、前年度決算額（655,895,321円）と比較すると46,063,568円（7.0%）の増加である。この主な要因は、ごみ処理場管理費委託料21,466,939円、し尿処理場管理費委託料13,729,100円、ごみ処理場管理費需用費5,769,815円の増によるものである。

なお、不用額の主な内訳は、次のとおりである。

- ・ し尿処理場管理費 需用費 1,448,509円
- ・ ごみ処理場管理費 需用費 3,798,320円

・ごみ処理場管理費 負担金、補助及び交付金 1,064,581円
主な理由は、それぞれ電気料単価の減少によるものである。

第4款 公債費

予算現額144,832,000円に対し、支出済額は歳出総額の16.5%に相当する144,831,362円で、不用額は638円である。

支出済額の内訳は、一般廃棄物最終処分場建設事業に係る元金償還金(144,740,900円)及び貸付金償還利子(90,462円)である。

なお、前年度決算額(144,831,362円)と同額となったところである。

第5款 予備費

項 別	予算額	充用額	不用額	充用率
予備費	3,000,000 円	580,665 円	2,419,335 円	19.4%

8 実質収支に関する調書

実質収支に関する調書については、地方自治法施行規則第16条の2に定められた様式で、計数にも誤りがなく正確であると認めた。

9 財産に関する調書

本調書に記載された財産は公有財産及び物品であり、年度中の増減得失、現在高等の状況が明らかにされており、調書に表示された計数について財産台帳と照合確認の結果、正確であると認めた。

10 むすび

本年度の決算状況をみると、歳入決算額は888,639,860円で前年度決算額839,827,878円と比較し、48,811,982円の増、歳出決算額は876,216,460円で前年度決算額822,612,732円と比較し、53,603,728円の増加となり、歳入歳出の差引においては12,423,400円の剰余金が生じたところである。

歳出の増加は焼却施設整備にかかる、一般廃棄物処理施設整備基本構想作成委託業務、し尿処理施設維持管理運営委託業務の増加が大きいところであるが、施設の更新事業として必要な経費であり、財政運営は適切になされている。

特に廃棄物処理施設はライフラインとしての役割が大きく、事業の安定性や継続性の確保が求められるものである。現在、留萌南部衛生組合では焼却施設の整備を進めているが、人口減少や物価高騰による資材の高騰など、目まぐるしく社会情勢が変化しているなか、既存施設の突発的なトラブルの対応を含め、住民の生活が当たり前のように維持・継続できるよう、構成市町はより緊密な連携を図り、経済性・効率性・有効性を重視した事業の運営に努められたい。

資料 1

令和 5 年度 留萌南部衛生組合歳入歳出決算状況

(1) 歳入

(単位：円・%)

款 別	予算現額 A	調 定 額 B	収入済額 C	予算執行率 C / A	調定対比 C / B	収入済額の 構成比	収入済額の予算 現額に対する増減(△)額	不 納 欠損額	収 入 未済額
1 分担金及び負担金	727,932,000	727,930,854	727,930,854	100.0	100	81.9	△ 1,146	0	0
2 使用料及び手数料	131,722,000	130,442,180	130,442,180	99.0	100	14.7	△ 1,279,820	0	0
3 財産収入	12,947,000	13,034,470	13,034,470	100.7	100	1.5	87,470	0	0
4 繰越金	17,215,000	17,215,146	17,215,146	100.0	100	1.9	146	0	0
5 諸収入	1,000	17,210	17,210	激増	100	0.0	16,210	0	0
合 計	889,817,000	888,639,860	888,639,860	99.9	100	100	△ 1,177,140	0	0

(2) 歳出

(単位：円・%)

款 別	予算現額 A	支出済額 B	翌年度繰越額				予算執行率 B / A	支出済額の 構成比	不用額	歳入歳出 差引額	備 考
			継続費通次繰越	繰越明許費	事故繰越し	計					
1 議会費	876,000	470,277	0	0	0	0	53.7	0.1	405,723		
2 総務費	29,505,000	28,955,932	0	0	0	0	98.1	3.3	549,068		
3 衛生費	712,184,665	701,958,889	0	0	0	0	98.6	80.1	10,225,776		
4 公債費	144,832,000	144,831,362	0	0	0	0	100.0	16.5	638		
5 予備費	2,419,335	0	0	0	0	0	0	0	2,419,335		
合 計	889,817,000	876,216,460	0	0	0	0	98.5	100	13,600,540	12,423,400	